

研究「ボノプラザン前後におけるヘリコバクター・ピロリ診療」について

【はじめに】

ヘリコバクター・ピロリは消化性潰瘍や胃癌発生に関与します。除菌はプロトンポンプ阻害薬（PPI）と抗菌薬2剤の3剤療法が中心ですが、2015年2月新たに薬価収載されたPPIであるボノプラザンを含む処方による除菌成功率の上昇が報告されています。本研究は東京大学医科学研究所附属病院ピロリ菌外来における受診者の診療経過を集計・解析し、ボノプラザン後のピロリ菌診療の変化や現状を検討することを目的としています。なお、この研究は東京大学医科学研究所倫理委員会の承認を得て研究機関の長の許可を受けて実施されます。

【方法】

外来受診情報からピロリ菌外来受診者を検索し、カルテ情報よりボノプラザン薬価収載前後での年齢・性別・診療経過・処方・検査結果などを集計し、解析します。

【対象となる患者様とご協力いただきたいこと】

ご協力いただきたいことは、該当する患者さんの2010年7月～本研究許可前日（2017年1月29日）までの診療情報を本研究に使わせていただくことです。

【個人情報保護の方法】

診療情報を使わせていただくにあたっては、お名前や患者IDなど患者さんを識別できる個人情報を取り除き、新たに研究用の番号を付けて管理します。研究用の番号と個人情報の対応関係の記録（対応表）は本研究では作成しません。これにより、患者さんの個人情報は厳重に保護されます。

【研究参加による利益・不利益】

利益：本調査に参加いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはありませんが、研究結果が今後の診療の発展につながる可能性があります。

不利益：保存されている診療情報のみを用いるためご負担をおかけすることはありません。

【研究成果の公表について】

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報は上述のようにして厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。なお、論文等で研究成果を発表

した場合には、研究成果の再現・反証を可能とするために、「東京大学医科学研究所生命科学系研究データ保存のガイドライン」に則り、少なくとも、データは紙媒体で5年、電子媒体で10年、東京大学医科学研究所に長期間保存させていただくことをご了承ください。

【問い合わせ窓口】

本研究へのご質問等がありましたら、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

東京大学医科学研究所附属病院

先端診療部

松原康朗

〒108-8639

東京都港区白金台4-6-1

TEL:03-3443-8111

FAX:03-6409-2336

E-mail: ma-yasu@ims.u-tokyo.ac.jp